

財務

バランスシートについて

Q 次の4点について伺う。
1 平成13年12月に発表されてから、それまでに蓄積されてきた資産の状況など、どのような分析をしたのか

2 分析の結果、どのように活用されているのか、また、具体的にどんな形で役立っているのか

3 多額の資産と負債を抱える下水道事業のバランスシートも作成し、下水道とともに箱根町全体の連結したものが必要と思うが

4 今後の活用に関して、どのように進めていくのか

A 1 点目について、分野別の資産の整備状況と、それに対する将来返済しな

なければならない借入金残高さらには職員の退職給与引当金の負債額としての把握、また、返済を要しない正味資産など概要を把握することができたと思っております。

2 点目について、分野別の資産形成状況の把握、現在の会計制度では考えることのない発生主義としての考え方、現金支出の

伴わぬ減価償却など、意識改革のためのデータとして活用することもできたと考えている。

3 点目について、水道事業会計は、地方公営企業法の適用を受け、バランスシートが作成され、ますので、これを連結することは可能であると考えられますが、水道事業だけを連結したものは意味がないわけで、下水道事業における資産額の把握のほか、各特別会計で有している資産をどのように算出するか、研究しなければならない課題が多くある。他市町村の作成例なども参考にしながら、将来的には町全体の連結バランスシートが作成できるようにしたいと考えている。

4 点目について、コスト意識の向上や意識改革とあわせ、今後の社会基盤などの整備計画に際しての判断材料として、また、その際の世代間の負担割合を考慮した借入額の検討資料として、さら

には民間企業と同様に効率的な財政運営のための重要な資料として活用できるよう、今後も継続して作成したいと考えている。

県町村議会議員

研修会に参加して

10月18日、一宮町リテイクンにおいて開催され、国際社会における日本人の役目」と題して多摩大学学長岸ノリコークラーク氏による講演でした。

内容は、日本人の細かい仕事に集中する得意性やイデオロギーを超えて人間付き合いが出来る事、正直に生きる道徳を持つべき、らしい民族性を中国、欧米、北米と比較して語りました。

国際社会はアメリカ、イギリスの民主主義が崩れ始め、国際的に原理主義の傾向が強くなっている中で、日本は日本を主張することとは、日本、外国側の主張や国の事情を理解し、さらにその裏側の意味も深く分析していかなければならないと言われました。つまり日本の道徳、アイデンティティやイデオロギーはず

ばらしいものであるが、国際的には稀な存在であるため、対話と理解がより、層要求される事だと理解いたしました。

今回は、今までの研修とは意味違った内容で、日本人としての意味を新たに考えさせられた研修でした。

下郡議全会全議員

研修会講演で思う

10月21日、足柄下郡議全会町村会合同研修会が湯河原町で開催されました。

当日は、三町の議員と町職員が出席し、自治体の訴訟問題についてと、水源環境保全施策と税制措置についてをテーマに講演を受講しました。

特に、水源環境の講演では、神奈川県税制企画担当部長の平松氏より、神奈川県豊かな水源環境を次の世代に残すために、現状をとり将来に向けての対策を話されました。

来年三月までと県としての方向性を財出、そしてその具体策と必要財源の検討等、問題はかなり奥深く限りあるが、緑豊かな山や川や湖が傷み始めるのは私たちの日常生活や経済活動に二因があり、未来の責任を果たすために、も全力で取り組むべきであると思う。山口町長も水もさることながら、温泉の枯渇が心配であると質問をされていた。

今年度も、広報委員として後と横に目を向け直して再出発します。よろしくお願いたします。

編集後記

総選挙が終わった。箱根町の投票率は55.5%。約半数の有権者が棄権をしたことになる。

しかし、そんな中でも、私のまわりでは、今度の選挙で初めて一票を投じた新有権者が何人かいたことはいずれのことであつた。女性のMさんは「下キド

キしながら投票したそうだ。さて、箱根町議会も任期半ばとなり、議会の構成が変わりました。二年間私たちが議会だより編集委員を務めます。

議会のことがよくわかり、次号が待ち遠しくなるような議会だよりにしたいと思います。そのためにも、町民の皆さんの率直なご意見が大切です。同時に私たちも、町民の代表に恥じない議会活動を行うことは、言うまでもありません。

一年後、たかさんのMさんにワクワクしながら選挙に参加してもらいたい。 (山田記)

議会だよりはね

編集委員会

委員長 山田和江
副委員長 折橋尚道
委員 勝呂昌子